

動物応用科学科

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー） （令和9年4月1日から施行）

動物応用科学科における目的の達成を目指し、人と動物の共生のためのより良い関係の維持・向上に向け、人と動物と社会の接点において生じる様々な問題を解決するなど、社会に貢献し活躍できる「動物応用実践的ジェネラリスト」を輩出するため、自ら課題を見出し、主体的に取り組むことで問題を解決する力を養い、所定の教育課程を履修し、卒業に必要な単位を修得した者に対して、学士（動物応用科学）を授与する。

1. 知識・理解

動物応用科学における基本的・専門的な知識を体系的に理解するとともに、生命の尊厳を守り社会において生じる多様な課題を解決するために応用することができる。

2. 専門的・汎用的技能

科学や技術が社会に及ぼす影響を理解し、適切な倫理観を備え、人と動物の健康や共生に関わる様々な問題を科学的な根拠に基づいて発見することができる。また、遺伝子レベルから生態系レベルに至る動物の保有する諸機能を人間生活に安全かつ効果的に活用するための知識・技術やデータサイエンス技能に加え、プレゼンテーション能力及びコミュニケーション能力を生かし、自律的かつ論理的な判断を行うことで、問題を解決に導くことができる。

3. 態度・志向性

幅広い教養、豊かな人間性、社会性、責任感及び適切な倫理観を備え、多様な場面において獲得した知識や技能を応用することのできる「動物応用実践的ジェネラリスト」として、生涯にわたり自ら学びを深め、価値観や意見の異なる様々な人と協働しながら取り組むなど、その知識や技能を社会に役立てることができる。

4. 総合的な学修経験と創造的思考力

動物応用科学科の教育課程を通じて獲得した知識・技能及び態度・志向性を総合的に活用し、「動物応用実践的ジェネラリスト」として科学的根拠に基づき創造的思考力を発揮することで、自らが立てた新たな課題に適用し解決することができる。